

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道411号 上萩原 期バイパス		事業区分	補助国道	事業主体	山梨県	
起終点	起点	山梨県甲州市塩山上萩原	延長				2.6 km
終点	山梨県甲州市塩山上萩原						
事業概要	<p>一般国道411号は、東京都八王子市と山梨県甲府市を結ぶ延長約118kmの幹線道路であり、第一次緊急輸送道路にも指定されている重要な路線である。上萩原 期バイパスは、交通の隘路となっている未改良区間の解消を目的とした、甲州市塩山上萩原地内の延長約2.6kmのバイパス事業である。</p>						
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H10年度用地着手		H10年度工事着手		
全体事業費	102億円		事業進捗率	90%		供用済延長	1.5 km
計画交通量	2,630台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 9.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 14/120億円 (事業費:11/117億円 維持管理費:3/3 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 134/134 億円 (走行時間短縮便益130/130億円 走行費用減少便益3/3 億円 交通事故減少便益1/1 億円)	基準年 平成18年			
感度分析の結果							
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘部の解消と線形改良による通行車両の安全確保 ・登坂車線を設置することによる交通円滑化 ・事前通行規制区間の縮小 						
関係する地方公共団体等の意見	<p>地元の首長等で構成される期成同盟会より、未改良区間の整備促進について、要望を受けている。 (H17.12.12)</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>同路線の別途箇所においてH17年7月に土砂崩落があり45日間の全面通行止めを行った。</p>						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>順調に事業は進捗している。残事業はトンネル工事及び橋梁工事。</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>トンネル工事及び橋梁工事を促進し平成21年度の完成を目指す。</p>						
施設の構造や工法の変更等	<p>橋梁工への新工法採用、工事用道路の構造や盛土法面の処理方法の見直し、トンネル型枠の共有化などを実施する。</p>						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。